

天白区

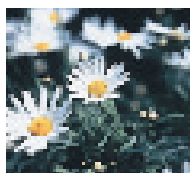
地域別計画

面積:21.62km² 人口:158,783人
世帯数:69,657世帯 人口密度:7,344人/km² (平成18年10月1日現在)

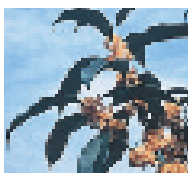
区のシンボルマーク



天白区の「て・ん」の二文字を組み合わせ、区民が、がっちりと手を組み、協力していく姿をデザイン化。中心のどがった形は、区の未来への発展を表現。色は緑豊かな天白区を表現しています。



区の花／マーガレット



区の木／キンモクセイ

景観計画等による良好な都市景観の形成
・都市景観整備地区の形成基準の見直し
(四谷・山手通地区)



凡例

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 公園・緑地などの空間 | 地下鉄(工事線) |
| 河川・ため池などの水面 | 自動車専用道路(事業中を含む) |
| 区役所 | 主な道路(事業中を含む) |
| 駅 | 主な道路(都市計画決定されている路線) |
| 主な施設 | インターチェンジ・出入口(白:入口、黒:出口) |
| 地下鉄 | |

※ 場所未定の事業：在宅サービスセンターの整備推進

- ポイ捨ての防止(美化推進重点区域)
- 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進(地下鉄駅)

区の魅力づくり

市民参画による森づくり

区内の自然をフィールドとして活動している市民グループ10団体と行政機関の連携組織である、「天白・もりのフォーラム」の協力を得ながら、市民が身近な自然に目を向け、自ら育てていく意識を高めます。
また、荒池なごやかファームの整備について、「荒池ふるさとクラブ」を中心とした市民の主体的な活動を支援します。

平成19～22年度

- 区内の森・水辺をテーマとした自然観察会・シンポジウムの実施、案内マップの発行
- 荒池緑地における森づくりジュニアサポーター養成事業(里山体験・自然観察)



天白・もりのフォーラム シンポジウム

特産品を生かした地域おこし事業

「梅」や「八事五寸ニンジン」といった区の特産農作物を生かしたイベントの開催などにより、地域の農業や地産地消、食育に対する関心と地域への愛着を育み、区の魅力向上や地域おこしを促進します。

平成19～22年度

- 料理教室・収穫体験の開催、料理や加工方法の募集
- 地域の団体や農業センター開催のイベントと連携した情報発信

文化ガイドボランティア事業

区の歴史・自然など、広く地域の魅力を発掘して区民に伝える人づくりやイベントを実施します。また区内の伝統芸能や特色ある文化についての人づくりを支援します。

平成19～22年度

- 「史跡を歩こう会」など歴史・文化に関するイベントの開催
- ガイドボランティア団体「歴遊会」によるガイドの実施、マップ・情報誌の発行
- 区内の伝統芸能や特色ある文化についての情報発信